

京都大学次世代研究者育成支援事業 「白眉プロジェクト」の概要

Kyoto University Hakubi Project to Foster and Support Young Researchers

平成21年9月15日
国立大学法人京都大学

Kyoto University

1. 白眉プロジェクト開始の背景

- 大学における学術研究活動は、研究者の自由な発想、知的好奇心・探求心を源泉として推進される知的創造活動であり、それらを支える最も重要な基盤は、多様な分野にわたる、創造性に富み、チャレンジングで独創的な人材です。
- 京都大学においても、そうした人材の育成は、重大な使命であり、グローバル化が進展する昨今、学問の新たな潮流を拓くことのできる広い視野と柔軟な発想を持つ創造性豊かな人材を育成することは重要な課題です。
- こうしたことから、次世代を担う先見的な研究者を育成するために、京都大学における各部局の様々な取り組みに加えて、京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」を立ち上げ、優秀な若手研究者を年俸制特定教員（准教授、助教）として採用し、自由な研究環境を与え、これを全学的に支援する仕組みを構築することとしました。

2. 白眉プロジェクトの概要

国内外の優秀な若手研究者を、国際公募し厳正な審査のうえ、京都大学特定有期雇用教職員就業規則に定める年俸制特定教員（准教授、助教）として採用。

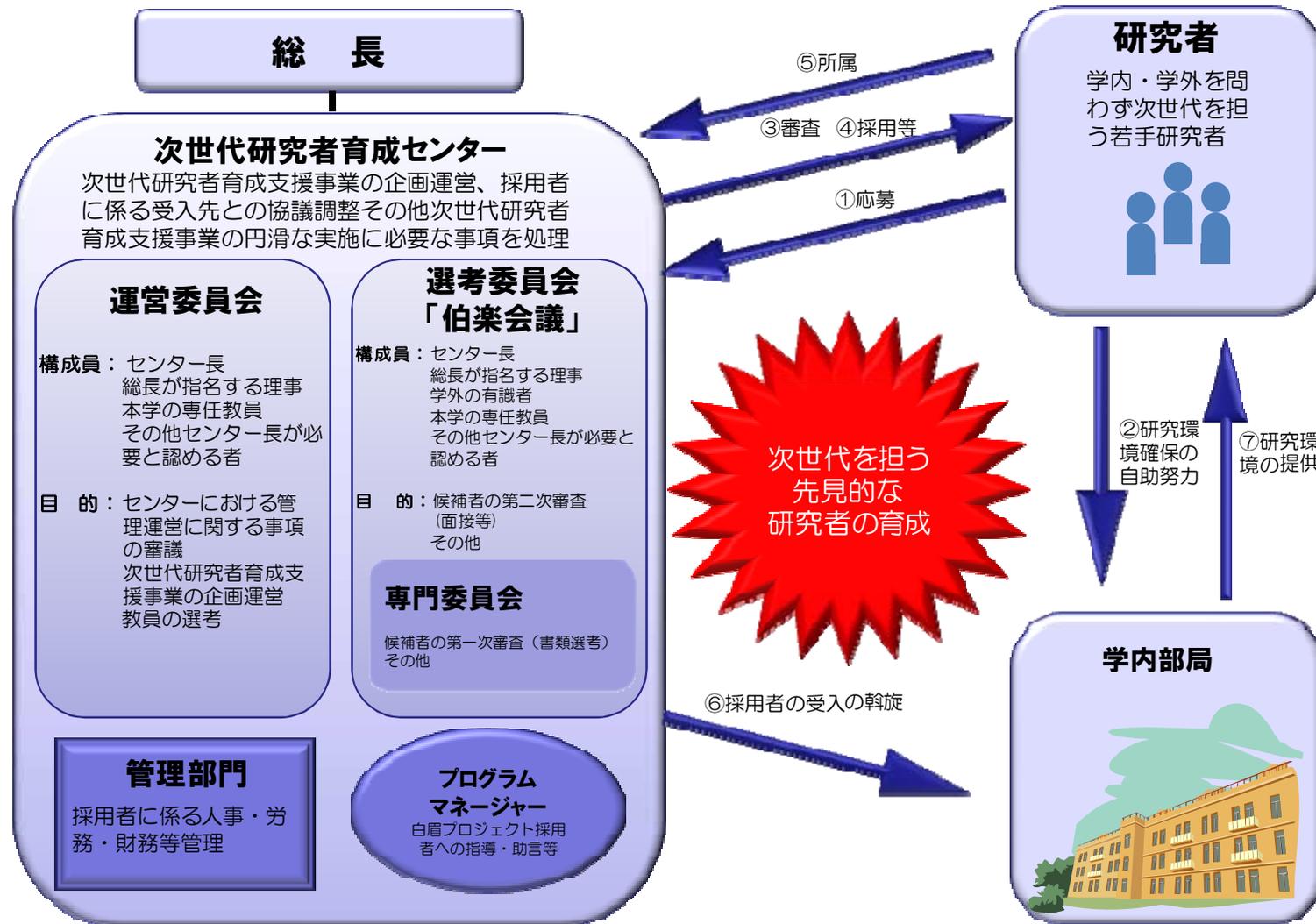
研究内容に応じた研究費を措置。

所属は、次世代研究者育成センターとするが、実際の研究は、原則的に京都大学内の受入先で実施する。（採用後に提案された研究計画を実施するための京都大学内の研究場所等（受入先）については、事前に内諾を得るなど、自ら準備できることが望ましい。）

次世代研究者育成センターのプログラムマネージャーが受入先との調整、採用者への指導・助言、各種行事の企画に当たり採用者の研究活動をフォロー。

自由に研究に専念させるため、毎年度の研究活動報告・任期終了時の研究成果発表以外は中間評価や事後評価は行わない。

3. 白眉プロジェクト実施体制



4. 白眉プロジェクトの特長

実際の研究は京都大学内の受入先で行うが、所属を次世代研究者育成センターとすることによって・・・

採用者を部局の教育・管理運営業務から解放し、研究活動に専念（研究活動に資するため、本人が希望する場合は支障の無い範囲で教育活動に携わることは可能）

次世代研究者育成センターの企画により定期的に、学術講演会、採用者同士の成果発表会等を開催し、同一分野だけでなく異分野の者との交流を深めることによって、幅広い知識と教養を獲得

次世代研究者育成センターに配置されるプログラムマネージャーが「学内の受入先・受入教員との各種調整」、「採用者への指導助言」、「各種行事の企画」を行い、採用から任期終了まで一貫した研究専念のためのサポート体制を構築

自由な研究環境を与え、最長5年間、ひたすら研究活動に没頭できる環境を提供



次世代を担う先見的な研究者の育成

5. 白眉プロジェクトの公募について

▶ 白眉プロジェクトの応募条件、待遇等はどうのようなものか・・・

対象とする分野	応募資格	採用予定	待遇
<ul style="list-style-type: none"> 人文学、社会科学、自然科学の全ての分野を対象（基礎から応用までのあらゆる学術研究を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 博士の学位を有する者（博士の学位を取得した者と同等以上の学術研究能力を有する者を含む） 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度20名を上限として採用 採用時期については、原則として、平成22年4月1日 	<ul style="list-style-type: none"> 京都大学特定有期雇用教職員就業規則に定める年俸制特定教員（准教授、助教）として最長5年間の任期で採用 京都大学白眉研究者の称号を付与
研究費	所属	研究成果	その他
<ul style="list-style-type: none"> 研究内容に応じて、年間1,000千円～4,000千円程度を措置 	<ul style="list-style-type: none"> 京都大学次世代研究者育成センターに所属。実際の研究は京都大学内の受入先にて実施 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年度、研究活動の報告会を行うが、中間評価等を行わない。また、採用期間終了時には、研究成果の発表を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 採用後の研究環境について、事前に受入先の内諾を得るなど、京都大学内において自ら準備できることが望ましい（※）

※ 採用後の研究環境について

- 本プロジェクトでは、採用者が研究活動に専念できるように、所属は次世代研究者育成センターとしますが、実際の研究は原則的に京都大学内の受入先で行います。このため、応募に当たっては応募者自身において、京都大学内の受入を希望する部局とコンタクトを取り、受入の内諾を得ておくことが望ましいこととしております。
- なお、どこからも受入の内諾を得られていない場合でも、応募資格を制限するものではなく、次世代研究者育成センターに置かれるプログラムマネージャーが、本人の希望を踏まえた上で京都大学内の適切な部局を斡旋します。

▶ 年俸制特定教員とはどのような身分なのか・・・

任期を付して雇用する教員のうち、総長の認める特定のプログラム、プロジェクト等により雇用される者

1. 給与

- ・（1）基本給
 - ・ 俸給月額（40万円～65万円）
- ・（2）手当
 - ・ 諸手当（通勤、住居、扶養、期末・勤勉手当等）は非支給

2. 健康保険、年金

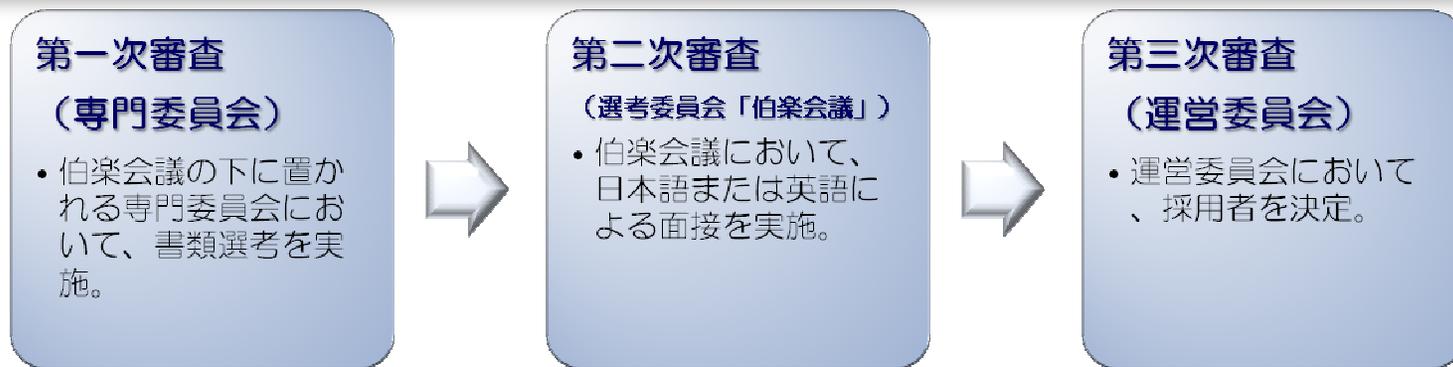
- ・ 文部科学省共済組合に加入

3. 退職金

- ・ 非支給

6. 選考の手順

選考については、京都大学次世代研究者育成センターに、本プロジェクトに係る採用候補者の選考を行うための選考委員会「伯楽会議」を設置し選考を行います。第一次審査として、伯楽会議の下に設置する専門委員会において書類選考を行い、第二次審査として伯楽会議において日本語または英語による面接を行い、研究面のみならず次世代のリーダーとしての資質等を総合的に判断して採用候補者の選考を行います。伯楽会議で選考された採用候補者については、センターにおける管理運営に関する事項を審議するための運営委員会に諮り、採用者を決定します。



※ 採用予定時期については、原則として平成22年4月1日としますが、個別事情を勘案して平成22年1月1日採用なども可能とします。

7. 公募スケジュール

9月16日	• 公募開始
9月~10月	• 公募説明会 (京都)
9月~10月	• 公募説明会 (東京)
11月16日 12:00	• 公募締切
11月中旬~12月上旬	• 専門委員会による書面審査・合議審査
12月~1月	• 伯楽会議による面接
12月~1月	• 運営委員会による審議 (採用者決定)
12月~1月	• 採用者発表

※ スケジュールについては、あくまでも予定であり今後変更の可能性があります。

8. 問い合わせ先

国立大学法人京都大学

研究推進部研究推進課

研究推進支援グループ（企画担当）

FAX：075-753-2042

E-mail：hakubi2009*mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

（*を@に変えてください）

